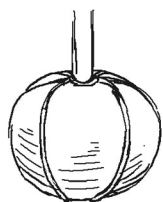


植木の植えつけ方

準備するもの… ハサミ、軍手、スコップ、十分な量の水

植木を準備したら、できるだけ早く
植えつけを行うと枯れる心配が減ります！



麻布・麻縄の場合

そのまま植えつけます。
麻布は外さないでください。
※麻布は数ヶ月経つと土にかえ
ります。



不燃紙ポットの場合

ハサミでポットを切りはがして
植えつけます。土はなるべく崩さ
ないようにします。切りはがした
後は水をかけないでください。

◇ 全ての作業は植える場所の近くで行いましょう ◇

1. 鉢に水をかける

鉢にたっぷりの水をかけます。

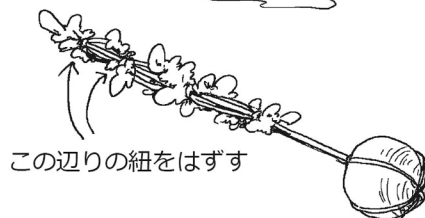
※地中ポットだったものは、切ってはがし根がむき出しの状態
にしますが、土が落ちてしまうので水はかけないでください。



2. 縛ってある紐を切る

先から真ん中くらいの紐を外します。

※全部の紐を外すと作業がやりにくくなる場合があります。



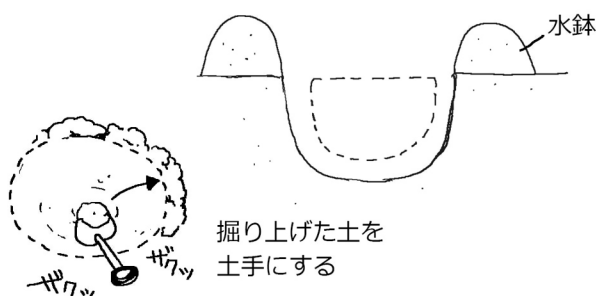
3. 穴を掘る

木を植える場所を決めたらスコップで穴を掘ります。

穴の大きさの目安は鉢の1.1～1.2倍程度が目安です。

土を入れ替える時は、2倍程の穴を掘ります。

だいたい鉢の1.1～1.2倍の大きさ



4. 穴と水鉢の完成

まず穴の大きさを決めて、掘り上げた土を穴の周りに
置いていくと水鉢ができます。

5. 植え付ける

穴に木を入れます。重い木は転がして入れてもOK！

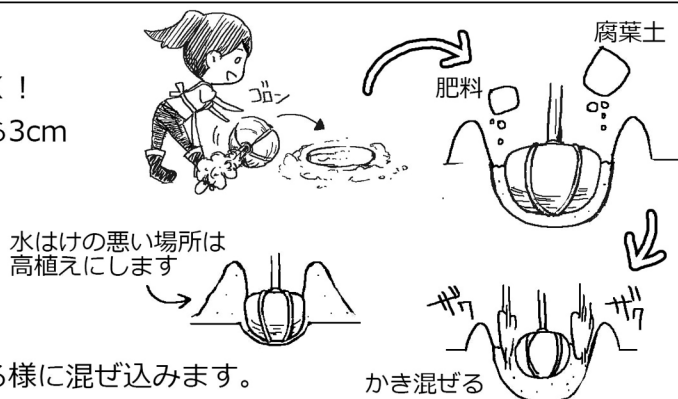
気持ち高植えになるように（根の付け根が地上から3cm
ほど出るように）調整します。

深植えは枯れる原因となる場合があります。

この時にだいたいの木の向きも決めます。

そして、土手を崩さずたくさんの土をかぶせます。

肥料や腐葉土などはこの時にスコップでかき混ぜる様に混ぜ込みます。



次ページへ



一般社団法人 日本植木協会

6. 水ぎめをする

土で作った土手を壊さないように、かつ、あふれそうなくらいたっぷり注ぎます。

■ポイントは土を流し込むように！

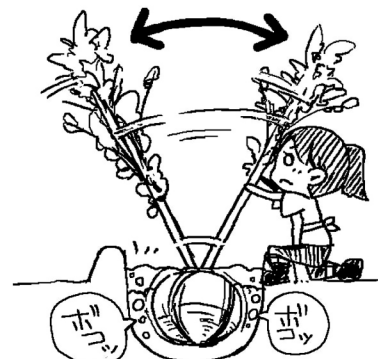
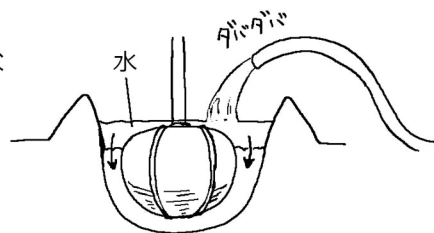
流し込んだ土が水で締め、樹木が固定されます。

水を注ぎながら、木を大きく動かして鉢の中にある空気を完璧に抜きます。これを水ぎめといいます。

※幹を持って鉢を四方にぐりぐり傾けるとボコボコッと音がして空気が抜けます。空気が抜けて水の水位が下がった時は、再度いっぱいになるように水を足します。これを繰り返し、木をぐりぐり回しても水位が変わらないようになるまでやります。

※木の幹が折れない程度に大胆に幹を傾けてください。

幹の角度は後から調節できます。



7. 木姿を整える

空気が抜けたら残りの紐を切り、水ぎめで固定される前に植木の角度や向きを調節します。

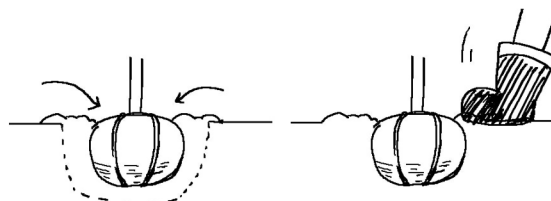
そして、水が引いて土が固まるまで置いておきましょう。



8. 土を踏み固める

水が乾いたら、周りの水鉢を崩しながら鉢を埋めていき、踏み固めます。

この時、木がぐらついていないか確認しましょう。



完成

これで木の植栽は完成です！ 重労働お疲れ様でした！

続いて支柱のつけ方になります。



※植えつけた後の水やりのポイント

土の乾燥具合を見て、乾いているようであればたっぷりと水をあげましょう。

その際にはまた水鉢を作ってあげると効果的です。

特に夏場や植え付け1年目は、水の管理には十分に注意して下さい。

※植えつけたばかりの植木の様子

植物は環境が変わると、その環境に慣れる為に自ら葉を落として根と葉のバランスを調整します。その為、少し落葉したりすることがありますが問題ありません。

しばらく様子を見ていただき、さらに具合が悪くなるようであれば、専門家にご相談下さい。



一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 6-4-22 三沖ビル 3階

TEL.03-3586-7361 FAX.03-3586-7577

URL : <http://www.ueki.or.jp/> E-mail : honbu@ueki.or.jp

